

議員案第26号

ガザ地区の人為的飢饉を止めるため、パレスチナ国家の承認を求める意見書

上記の意見書を次のとおり提出する。

令和7年9月5日提出

小金井市議会議員

安 田 けいこ

村上 ようすけ

片 山 かおる

森 戸 よう子

ガザ地区の人為的飢饉を止めるため、パレスチナ国家の承認を求める意見書

世界食糧計画（以下「WFP」という。）などの国連機関は2025年8月22日、イスラエル軍の攻撃が続くパレスチナ自治区ガザで、最大都市の北部ガザ市などが「飢饉（ききん）」に陥ったことを確認したと発表した。WFPによると、飢饉はアフリカで過去4回確認されているが、中東では初めてとなる。ガザ人口の4分の1に当たる50万人以上が、最も深刻な飢饉（フェーズ5）の状況にあるとした。9月末には中部デイル・アル・バラや南部ハンユニスにも飢饉は拡大するとし、飢饉の中で生活する住民は約64万人に達すると見込まれる。

ガザ地区保健省によると、8月20日現在、栄養失調による死亡者数は269人で、うち子供は112人とした。病気との合併症で亡くなる子供を含めれば、その数は更に増えると予想される。

国連事務総長は8月22日、「飢饉は人為的な災害であり、道徳的に許されず、人類そのものの失策である」とし、即時の停戦、全ての人質の即時解放、完全で制限の無い人道支援へのアクセスを求める声明を発表し、「行動するのは正に今だ」と訴えた。

ガザ地区の人道状況の悪化が深刻になる中、パレスチナを国家として承認する方針を表明する国が相次いでいる。フランスやカナダ、条件付きながらもイギリスなどが9月に正式に国家として承認すると表明し、新たに10か国が加盟する見込みと報じられている。パレスチナのマンスール国連大使は、「9月22日にニューヨークの国連本部で開かれるパレスチナ問題解決に向けた国際会議では、新たに承認する国を加え、計約160か国がパレスチナを国家として認めることになるだろう」と語った。

日本では8月7日に日本パレスチナ友好議員連盟及び超党派人道外交議員連盟が、外務省にパレスチナの国家承認を求める要望書を提出した。7月7日に提出された要望書と合わせて衆参両院議員191名が署名したことになる。また、同席したNGOの代表者からも、日本政府に対してパレスチナの国家承認を求めるため、NGO団体が集めた3万7,311名の署名が提出された。

日本は「二国家解決」の支持を表明しているが、現状はイスラエルのみを国家承認し、パレスチナについては適切な時期等を検討するとして、先延ばしをしている。イスラエルによる人為的な飢饉は国際法違反であり、直ちに是正されなければならない。そのためにも、パレスチナの自治権を保障し、人権法や人道法を含む国際法の対象となる国家承認を急ぐべきである。

よって、小金井市議会は、政府に対し、9月に行われる国連会議においてパレスチナを国家承認し、イスラエルによるパレスチナへの人為的飢饉を含めた非人道的行為を止めるため、あらゆる手段を講じることを強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年 月 日

小金井市議会議長 斎藤 康夫

内閣総理大臣 様

外務大臣 様

議員案第 27 号

白井市長に、都施行の都市計画道路については、環境への配慮や住民合意がないままに進めないよう東京都に伝えることを求める決議

上記の決議を次のとおり提出する。

令和 7 年 9 月 5 日提出

小金井市議会議員

安 田 けいこ

坂 井 えつ子

村上 ようすけ

渡 辺 大 三

白井市長に、都施行の都市計画道路については、環境への配慮や住民合意がないままに進めないよう東京都に伝えることを求める決議

「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」では、3・4・11号線外、3・4・1号線（以下「2路線」という。）が突如、優先整備路線に選定されたことから、市民から反対の意見が多く出されている。市議会も中止や見直しを求めて意見書12件・決議10件を可決してきた。

白井市長は、令和7年第1回定例会で2路線に関する市長報告を行い、わずか14日後に撤回した。撤回の際、「再整理が必要」としていたが、半年経っても整理されずに今日に至っており、今定例会で市長報告を行う意思が明らかにされたところである。

市が8月に行った都市計画道路に関する市民説明会では、道路整備の必要性や環境への懸念の声が多く寄せられている。

よって、小金井市議会は、白井市長に対し、「東京における都市計画道路の整備方針（仮称）」策定に向けて、東京都へ以下の事項を伝えるよう求めるものである。

1 3・4・11号線外、3・4・1号線について

3・4・11号線外は、市が「環境の専門家からの意見聴取の検討」を予定しているが、検討のままで進展がない。2路線とも環境への懸念が残っていることから、はけと野川を守り、豊かな暮らしや文化を後世に継承していくための検証を、市が行うことが必要である。環境について課題が残っており、本2路線を優先整備路線にしないこと。

2 3・1・6号線について

3・1・6号線（以下「五日市街道」という。）は、「小金井市都市計画マスタープラン」において、東京都に整備推進を要望するとしているが、白井市長は「優先的に整備して欲しいとは思っておりません」と意思を明確に答弁した。市は、本年3月に出した「都市計画道路に関する検証報告書まとめ」とする路線選定のための基礎資料において、必要性の観点から五日市街道を上位にランク付けしているが、都市計画マスタープランでは「必要に応じて、見直すべきものは見直していきます」とあることから、施行者である東京都に見直しを求めるため、市として合理性の観点から検証を行うべきである。

当該地域は、文化財保護法に基づく東京都水道局の「史跡玉川上水整備活用計画」（2009年8月策定）に沿い、「玉川上水・小金井桜整備活用計画」を策定し、東京都や市民団体と協働して史跡玉川上水とともに、名勝小金井（サクラ）の再生・復活へ向けた事業を進めており、昨年名勝指定100周年を迎えたところである。名勝小金井（サクラ）や、史跡玉川上水に影響を及ぼす五日市街道の拡幅は、2路線で起きているような課題を新たに生じさせかねないことから、3・1・6号線を優先整備路線に選定しないこと。

以上、決議する。

令和7年 月 日

小金井市議会